

附 号
7.1.2.
昭和七年一月一日

鳥取縣公報

縣 令

第二百八十一號
昭和七年一月一日
金 曜 日

◇鳥取縣令第一號

救護法施行細則左ノ通定ム

昭和七年一月一日

鳥取縣知事 館 哲 二

救護法施行細則

第一條 市町村長ハ被救護者ニ付様式第一號ニ依リ救護臺帳ヲ作製スヘシ
第二條 救護法第四條ノ委員ハ方面委員ト稱ス

鳥取縣公報 每週曜日發行 (休日ニ當ル) 第二百八十一號 (昭和四年四月十五日) 第三種郵便物認可

第三條 市町村方面委員ニ手當其ノ他ノ給與ヲ爲ス場合ニ於テハ豫メ給與額及其ノ支給方法ニ付知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 市町村長醫療又ハ助産ノ爲醫師、齒科醫師、藥劑師又ハ產婆ヲ指定シタルトキハ之ヲ告示スヘシ

第五條 居宅救護ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一日ニ付左ノ限度ヲ超ユルコトヲ得ス

家族員數	市	倉吉町	其ノ他ノ町村
一人	一七錢	一五錢	一三錢
二人	二九錢	二七錢	二四錢
三人	三九錢	三七錢	三三錢
四人	四七錢	四五錢	四〇錢
五人	五四錢	五一錢	四六錢

六人	六〇錢	五六錢	五一錢
七人以上	六五錢	六〇錢	五五錢

被救護者ノ屬スル世帯ニ於テ收入アル場合ニ於テハ其ノ收入ノ額ハ前項ノ額ヨリ之ヲ控除スヘシ

第六條 居宅救護ノ場合ニ於テ醫療ノ爲支出スル費用ハ左ノ限度ヲ超ユルコトヲ得ス

一 診察料 無料 但シ往診ノ場合ニハ汽車ニ付テハ三等實費、陸路ノ場合ニハ往復ヲ通シ一里毎ニ四十錢ノ車馬賃ヲ給ス

二 藥治料 一人一日十二錢 但シ處方箋ニ依リ藥劑師ニ就ク場合ハ一劑六錢

三 處置料 一人一回十錢

四 手術料 一人一回一圓 但シ齒科手術ハ四十錢

五 検査並注射料

イ、ワツセルマン氏反應(採血料ヲ含ム)腰椎穿刺検査、レントゲン検査、胃竝十二指腸液検査、細菌學的培養検査、食道鏡検査、直腸鏡検査、尿道鏡検査、膀胱鏡検査、視力

検査、リンゲン氏液注射、生理的食鹽注射、葡萄糖液注射、靜脈内注射、サルバルサ
ン注射、狂犬病豫防注射、連鎖狀球菌血清注射、破傷風血清注射、一人一回一圓
ロ、其ノ他 一人一回三十錢

六、文書料 無 料

前項ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ市町村長ハ知事ノ認可ヲ受ケ其ノ都度之ヲ定ムルコ
トヲ得

第七條 居宅救護ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ一人一回六圓ヲ超ユルコトヲ得ス

但シ特別ノ必要アル場合ニ於テハ十圓ヲ超エサル範圍内ニ於テ知事ノ認可ヲ受ケ其ノ都度
之ヲ定ムルコトヲ得

第八條 收容救護ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ左ノ限度ヲ超ユルコトヲ得ス

一、救護施設又ハ適當ナル施設

イ、病院 産院 一人一日 四十錢

ロ、其ノ他 一人一日 二十五錢

二、私人ノ家庭 一人一日 三十錢

第九條 收容救護ノ場合ニ於テ醫療又ハ助産ノ爲支出スル費用ハ一人一日四十錢ヲ超ユルコトヲ得

ス

前項ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ市町村長ハ知事ノ認可ヲ受ケ其ノ都度之ヲ定ムルコトヲ
得

第十條 生業扶助ノ爲支出スル費用ハ一人ニ付 二十圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條 埋葬ノ爲支出スル費用ハ七圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 救護法施行規則第六條ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、作業ノ種類

二、作業ノ時間

三、作業ニ依ル收入ノ處分方法

第十三條 市町村長ハ毎年度十月及四月ノ各十五日迄ニ其ノ前月迄ノ六月間ノ救護狀況報告書ヲ様

式第二號ニ依リ作成シ且其ノ期間内ノ救護概況ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

第十四條 市町村長ハ救護ニ要スル費用カ府縣ノ負擔ニ屬スヘキ者ノ救護ヲ爲シタルトキハ其ノ救

護臺帳ノ謄本ヲ添附シ遲滞ナク其ノ旨知事ニ報告スヘシ

市町村長前項ノ救護ノ廢止停止又ハ變更ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨知事ニ報告スヘシ

第十五條 市町村長府縣ノ負擔スル費用ノ繰替支辨ヲ爲シタルトキハ毎年度七月、十月、一月、及四月ノ各十五日迄ニ其ノ前月迄ノ三ヶ月間ニ付様式第三號ニ依ル計算書及支出ニ關スル證憑書類ヲ添附シ知事ニ辨償ヲ請求スヘシ

第十六條 市町村長遺留物品ヲ競争入札ニ付セスシテ賣却セムトスルトキハ二人以上ヨリ見積書ヲ徵スヘシ

有價證券ノ賣却ハ公定價格ニ依ルヘシ

第十七條 私人ノ設置スル救護施設ニ關シ其ノ設置者又ハ救護施設ノ長ヨリ知事ニ提出スル書類ハ其ノ所在地市町村長ヲ經由スヘシ

第十八條 市町村長救護事務ノ取扱ニ關スル規程ヲ制定シ又ハ變更シタルトキハ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號

(表)

救護臺帳

考 備	者	救	被 氏 名	該當種別 (法第十二條及第十條)	救護種類 (法第十條)	救護ノ程度	救護ノ方法	救護開始 年月日	摘 要	第 號	居 住 地	世 帯 主

備考

(一) (表)ノ記載方

- 一、「該當種別」ハ例之疾病等「救護種別」ハ醫療等「救護ノ方法」ハ居室又ハ何々院へ收容若ハ委託等ト記入スルコト
- 二、「摘要」欄ニハ醫療ニ在リテハ治療見込期間、助産ニアリテハ分娩豫定日又ハ分娩日、埋葬ヲ爲シ若ハ埋葬費ヲ支給シタルトキハ其ノ旨其ノ他救護ノ變更廢止ノ理由等ヲ記載スルコト
- 三、救護ノ成績其ノ他救護上參考トナルヘキ事項ヲ「備考」欄ニ記入スルコト

(二) (裏)ノ記載方

- 一、本様式ハ救護ノ開始ニ當リ調査スヘキ事項ヲ掲クルモノトス
- 二、居住地ナキ者又ハ居住地分明ナラサル者ハ其ノ現在地ヲ「居住地又ハ現在地」欄ニ記入シ「居住ノ始期」欄ニ其ノ旨記入スルコト
- 三、「居住ノ始期」ハ同一市町村内ニ於ケル繼續居住ノ始期ヲ記入スルコト
- 四、「職業」欄ニハ現在ノ職業ヲ記入シ失業又ハ無職ノ場合ハ其ノ旨記入スルコト

- 五、「世帯ノ構成員」欄ノ「収入見込月額」計ト「收支見込月額欄」ノ「収入」額トハ符合スルコト
 - 六、「世帯構成員一人」日當支出額「ハ一ヶ月ヲ三十日トシ世帯構成員人員ヲ以テ算出スルコト
 - 七、「要救護事由」欄ニハ救護ヲ要スルニ至リタル經過及現況等ニ付成ルヘク詳細ニ記入スルコト
- 本臺帳ハ救護費用カ市町村ノ負擔ニ屬スルモノト府縣ノ負擔ニ屬スルモノトテ區別シ編綴スルコト

様式 第二號ノ一

自昭和 年 月 分 救護異動狀況報告

救護種類	居室別		前期ヨリ	救護ノ開始	救護ノ廢止停止	死亡	現在員
	居室	住宅					
生活扶助	收	容					

計		生業扶助		助産		醫療	
		收容	居宅	收容	居宅	收容	居宅

備考

一、本報告ハ十月報告ノ場合ハ、自四月分ヲ、四月報告ノ場合ハ、自前年十月分ヲ掲クルコト
至九月分、至三月分

二、本報告ハ救護ニ要スル費用ノ負擔別ニヨリ府縣及市町村ノ各表ヲ作成スルコト

三、同一人ニ對シ二種以上ノ救護ヲ爲スモノハ救護ノ種類欄ノ順序ニ依リ記載シ再掲シタル分ニ括
孤ヲ附スルコト

様式第二號ノ二 自昭和 年 月分救護實施狀況報告

種ノ類		救護ノ種		埋葬
實人員	世帯數	生活扶助	醫療	
		居宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	
		住宅收容	住宅收容	

世帶數	幼者哺育ノ母				虛弱	身体	又ハ	耗弱	精神
	金額	延人員	實人員	世帶數	金額	延人員	實人員	世帶數	
	圓				圓				
	圓				圓				
	圓				圓				
	圓				圓				
	圓	/			圓	/			
	圓				圓				
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			
	圓	/			圓	/			

在現 實人員	現世帶數	計		
		金額	延人員	實人員
		圓		
		圓		
		圓		
		圓		
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	
		圓	/	

備考

- 一、前様式ノ備考ニ同シ
 - 二、金額ハ四捨五入シ圓位ニ止ムルコト
 - 三、本報告ノ「現在員」計ハ「救護異動狀況報告」ノ「現在員」計ト符合スルモノトス
- 様式第二號ノ三

自昭和
至昭和
年
月分收容救護狀況報告

計	額金及人員ノ護救					計	埋葬	現在員											
	私人ノ家庭	適當ナル施設	(私)何々	(私)何々	(公)何々				救護施設	適當ナル施設									
									人員延	人員實	人員延	人員實							
						人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實

計	状況ノ課賦業作				施設護救 名稱ノ種類	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	
	(私)何々	(私)何々	(公)何々	(公)何々																		作業ノ種類
																						金額
					人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實	人員延	人員實

備考

一、様式第二號ノ一ノ備考ニ同シ

二、「實人員」ハ同一人ニ對シ二種以上ノ救護ヲ爲スモノハ救護ノ種類欄ノ順序ニ依リ記載シ再

備考

- 一、「實人員」ハ同一人ニ對シ二種以上ノ救護ヲ爲スモノハ「種類」欄費目ノ順序ニヨリ記載シ再掲シタル分ニ括弧ヲ附スルコト
- 二、「一人一日(又ハ一回)當支出額」欄ノ平均ハ「繰替支辨金額」ヲ「延人員」(居宅助産費生業扶助費及埋葬費ハ實人員)ニテ除シタルモノヲ掲記スルコト
- 三、必要アル場合ニ於テハ本様式ノ外被救護者別ノ繰替支辨金計算書ヲ提出セシムルコト

◆鳥取縣令第二號

軍事救護法施行細則左ノ通改正ス

昭和七年一月一日

鳥取縣知事 館 哲 二

軍事救護法施行細則

第一條 軍事救護法ニ依リ救護ヲ受ケムトスル者ハ第一號様式願書ニ出頭ノ理由書ヲ添ヘ其ノ住所

地市町村長ヲ經テ知事ニ出願スヘシ

前項ノ書類ノ外生業扶助ニ依ル救護ヲ受ケムトスル者ニ在リテハ事業計畫書及經費豫算書ヲ醫療又ハ助産ニ依ル救護ヲ受ケムトスル者ニ在リテハ醫師齒科醫師又ハ産婆ノ診斷書ヲ添付スヘシ

救護ヲ受ケムトスル者一家二人以上アルトキハ戶主其ノ他一家經理ノ任ニ在ル者前二項ニ依リ出願スヘシ

第二條 市町村長前條ノ願書ヲ受理シタルトキハ第二號様式ノ救護調書ヲ作成シ戶籍謄本其ノ他必要書類ヲ添付シ知事ニ進達スヘシ

市町村長ニ於テ救護ノ必要アリト認ムル者アルトキハ前條ノ出願ナキ場合ト雖モ前項ノ規定ニ依ル救護調書ヲ作成シ戶籍謄本生業扶助ヲ要スルトキハ事業計畫書及經費豫算書醫療若ハ助産ヲ要スルトキハ診斷書其ノ他必要書類ヲ添付シ知事ニ具申スヘシ

第三條 醫療ノ爲支出スル費用ハ左ノ限度ヲ超ユルコトヲ得ス

- 1、診察料無料 但シ往診ノ場合ニハ汽車ニ付テハ三等實費陸路ノ場合ニハ往復ヲ通シ一里毎ニ四十錢ノ車馬賃ヲ給ス

- 2、藥治料 一人一日十五錢 但シ處方箋ニ依リ藥劑師ニ就ク場合ハ一劑六錢
- 3、處置料 一人一回十錢

- 4、手術料 「開腹術、大切斷手術、大關節離斷」ハ一人一回金七圓

「頭蓋手術、氣管切開、大外傷、惡性腫瘍兼轉位手術(除開腹術)動靜脈瘤、膀胱結石、骨結核、梅毒及腐骨切除、大整形手術、關節炎、大腿筋炎、嵌頓ヘルニヤ、睪丸摘出、大膿瘍、大壞疽、肋骨切除大創傷、傳染病手術、食管氣道手術、泌尿器、生殖器瘻孔手術、關節大手術、肛門大手術ハ」一人一回四圓

「皮膚病的、花柳病の手術、小瘰癧手術、肛門小手術、小外傷指趾關節骨折手術、小整形手術、耳鼻咽喉科の手術、大部分内容穿刺手術、異物摘出、筋性諸病手術、贅性増殖物切除、包莖手術、トラホーム手術、其ノ他一切」ハ一人一回一圓

齒科手術ハ 一人一回四十錢

- 5、検査並注射料

「ワツセルマン氏反應(採血料ヲ含ム)腰推穿刺検査、レントゲン検査、胃竝十二指腸液検査、細菌學の培養検査、食道鏡検査、直腸鏡検査、尿道鏡検査、膀胱鏡検査、視力検査、リンゲン氏液注射、生理的食塩注射、葡萄糖液注射、靜脈内注射、サルバルサン注射、狂犬病

豫防注射、連鎖狀球菌血清注射、破傷風血清注射」ハ一人一回一圓

其ノ他ハ一人一回三十錢

- 6、文書料 無 料

- 7、入院料 (生活扶助費及醫療費ヲ含ム) 一人一日八十錢

但シ肺結核患者ニハ一日金三十錢以内ヲ増額シ手術料、検査並注射料ハ別ニ支出スルコトヲ得

前各號ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ實費トス

- 第四條 生業扶助ノ爲支出スル費用ハ一世帯ニ付百圓ヲ超ユルコトヲ得ス

- 第五條 救護ヲ受クル者死亡シタル場合ニ於テ埋葬ヲ行ヒタル者ニシテ埋葬費ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ第三號様式ノ願書ニ埋葬費計算書及證憑書類ヲ添付シ死亡シタル者ノ住所地市町村長ヲ經テ知事ニ出願スヘシ

市町村長前項ノ願書ヲ受理シタルトキハ其ノ適否ヲ調査シ直ニ知事ニ進達スヘシ

- 第六條 救護ヲ受クル者願書記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ第一條ノ願出人又ハ之ニ代ル者ヨリ直ニ住所地(住所移轉ノ場合ハ舊住所地)市町村長ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ

第七條 市町村長ハ被救護者死亡シタルトキ救護事由消滅シタルトキ又ハ救護ヲ廢止若ハ停止スヘキ事由ノ發生シタルトキハ直ニ知事ニ報告スヘシ

市町村長ハ救護ノ廢止若ハ停止又ハ救護ノ程度若ハ方法ノ變更ノ必要アリト認メタルトキハ其ノ理由及意見ヲ具シ直ニ知事ニ報告スヘシ

第八條 市町村長ハ常ニ被救護者ノ狀況ニ注意シ毎年六月、十二月ノ末日ヲ期トシ其ノ狀況ヲ翌月十日迄ニ知事ニ報告スヘシ

第九條 軍事救護法施行令第十一條ニ依リ内務大臣ニ審査ヲ出願スル場合ニ於テハ救護ノ拒否又ハ廢止、停止ノ指令ヲ交付シタル市町村長ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式
軍事救護願

何 何
某 某

右之者(災害ニ罹リ候爲臨時軍事救護法ニ依リ生活扶助(醫療、助産、生業扶助)ニ依ル救護相受度候ニ付御許可相成度此段及願出候也

年 月 日

本籍
住所

出願人戸主(一家經理ノ任ニ在ル者) 何 某 印

知 事 宛

備 考

一、救護ヲ受ケムトスル者一人ノミナル場合ハ出願人ハ本人トス

一、救護ヲ受ケムトスル者住所ヲ異ニスル場合ハ其ノ住所地市町村別ニ願書ヲ作製スルモノトス

第二號様式(用紙美濃紙)

軍事救護調書

出願人	住所		氏名	所屬部隊又ハ鎮守府又ハ兵種官等級	入營應召兵 役免除又ハ 死亡年月日	附記
	本籍	氏名				
軍事救護法 第五條ノ下 士官兵又ハ 傷病兵			氏名			

調査者	扶養義務者ニ關スル	住所氏名	續柄職業	資産所得ノ程度	收養ノ狀況	全家族ニ關スル調査				種別 <small>兵ノ續柄</small>	氏名	生年月日	住所	職業	勞働ノ能力程度	一箇年ノ 收得金	法第八條乃至第十二條ノ事項其 ノ他必要事項
一家ノ收入年額																	
一家ノ支出年額																	
差引																	

計	所得	財產	所得	職業	恩給	扶助	扶養	個人	又ハ	計	諸	食	被	住宅	又	其他	計	不足額	
	所得	所得	助給	扶助	務者	受ク	受ク	受ク	受ク		受ク	稅	料	費	料	宅	地	其他	計
一家ノ資産	生活不能トナリタル原因及一家生活ノ狀況	救護ノ種類	程度方法等	ニ關スル意見	產 動	產 動 不	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其	他ノ其

其ノ他參考 トナルヘキ事項	右之通ニ候也	年 月 日	市 町 村 長	知 事 宛	備 考
					<p>一、「所屬部隊又ハ鎮守府」欄ニハ傷病兵ニ在リテハ傷病ニヨリ兵役ヲ免セラレタル當時ノ部隊又ハ鎮守府ヲ記載スルモノトス</p> <p>一、「附記」欄ニハ現役兵ニ關シテハ青年訓練修了ノ有無、現役免除出願ノ見込若ハ手續中等參考</p>

トナルヘキ事項ヲ記載スルモノトス

一、「全家族ニ關スル調査」欄ニハ同一戸籍内ニ在ル者ハ全部之ヲ記載シ其ノ内救護ヲ要スル者ハ氏名ノ上ニ「要救護」ト朱書スヘシ

一、「一家族ノ資産」欄ニハ動産、不動産其ノ他ノ見積額(土地ハ地目、反別建物ハ種類構造建坪ヲモ記載ヲ要ス)ヲ記載スヘシ

一、一家ノ收支狀況ハ最モ詳細正確ニ記載シ欄内ニ記シ能ハサルトキハ別紙ニ記載スヘシ

一、救護ヲ受ケムトスル者負債ヲ有スルトキハ負債ノ原因金額、償還方法、借入年月日、債權者ノ住所氏名及利子額等ヲ調査シ之ヲ別紙ニ記載シテ添付スヘシ

尙恩給扶助料ノ受領權ヲ債權者ニ託セルモノニツキテハ其旨附記スヘシ

第三號 様式

軍事救護埋葬費下付願

何 某

右之者軍事救護法ニ依リ救護相受居候處 年 月 日死亡候ニ付テハ之カ埋葬ヲ致候條埋葬費御下付相成度別紙計算書及證憑書類添付此段及願出候也

年 月 日

住 所

何 某 印

知 事 宛

訓 令

◇鳥取縣訓令甲第一號

市 町 村 長

救護事務取扱手續左ノ通定ム

昭和七年一月一日

鳥取縣知事 館 哲 二

救護事務取扱手續

第一條 市町村長救護ヲ行ハムトスルトキハ救護ヲ受クヘキ者ノ資産、所得ノ有無、勞務故障ノ程度、扶養義務者ノ能力其ノ他各種ノ狀況ヲ充分ニ調査シタル上救護ノ種類、程度及方法ヲ決定スヘシ

第二條 市町村長ハ常ニ救護ヲ受クル者ノ狀況ニ注意シ必要ニ應ジ救護ノ廢止、停止又ハ變更ヲ爲スヘシ

第三條 市町村長救護ノ許否ヲ決定シ又ハ救護ノ廢止、停止若ハ變更ヲ爲サムトスルトキハ方面委員ノ意見ヲ徵スヘシ

第四條 救護法第一條第三號及第四號ニ掲クル事由ノ認定ニ付テハ醫師又ハ產婆ノ診斷書ヲ徵スヘシ

分娩前ニ於テ妊産婦ノ救護ヲ行ハムトスルトキハ特ニ分娩ノ豫定日ヲ定ムルニ付醫師又ハ產婆ノ意見ヲ徵スヘシ

第五條 居宅救護ヲ爲ス場合ニ於ケル醫療ニ付テハ往診ハ特ニ其ノ必要アリト認メタルトキニ限リ之ヲ行フヘシ

第六條 齒科醫療ニ付テハ齒科補綴ハ之ヲ行ハサルノミナラス特ニ治療ヲ要シ放置シ難キモノニ限リ之ヲ行フヘシ

第七條 生業助扶ヲ爲シタルトキハ其ノ原資ヲ消盡セシメサル様常ニ注意ヲ拂フヘシ

第八條 救護法施行細則第六條第二項、第七條但書若ハ第九條第二項ノ制限外支出認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シタル申請書ヲ提出スヘシ

一、救護ヲ受クヘキ者ノ氏名、生年月日

二、居住地及居住期間又ハ現在地

三、救護又ハ助産ノ方法

四、救護費又ハ助産費ノ所要見込額

五、制限額ニ依ル能ハサル理由

第九條 被救護者本縣内ニ於テ他ノ市町村ニ居住地又ハ現在地ヲ異動シタルトキハ前ノ居住地又ハ現在地ノ市町村長ハ後ノ居住地又ハ現在地ノ市町村長ニ救護臺帳ノ謄本ヲ送付スヘシ

第十條 救護法第二十六條又ハ第二十七條ノ規定ニ依リ救護ニ要シタル費用ヲ徵收シ又ハ償還ヲ命

スル場合ニ於テハ其ノ納付者ノ資力及生計ノ状態ヲ充分ニ調査スヘシ

第十一條 救護法第二十八條ノ規定ニ依リ被救護者ノ遺留物品ヲ賣却スル場合ニ於テハ他ニ其ノ物品ニ對スル所有權者又ハ先取特權者ナキヤ否ヲ調査スヘシ

附 則

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◇鳥取縣訓令甲第二號

市 町 村 長

軍事救護事務取扱手續左ノ通改正ス

昭和七年一月一日

鳥取縣知事 館 哲 二

軍事救護事務取扱手續

第一條 市町村長ハ第一號様式ノ軍事救護名簿ヲ調製シ管内被救護者ニツキ必要事項ヲ記載スヘシ
被救護者縣内他ノ市町村ニ住所變更ノ届出ヲ爲シタルトキ若ハ届出ヲ爲サスト雖モ之ヲ知り
タルトキハ市町村長ハ直ニ知事ニ届書ヲ進達シ若ハ報告スルト共ニ遲滯ナク當該名簿ノ謄本
ヲ新住所地市町村長ニ送付スヘシ

第二條 市町村長ハ災害ニ因リ臨時ニ生活扶助ニ依ル救護ヲ受ケムトスル者アルトキハ左ノ事項ヲ
詳具シ願書ヲ進達スヘシ

一、災害ノ狀況(罹災物件ト災害ヲ免レタル物件トニ區分シ種類、概數、見積價額等ヲ詳記ス
ヘシ)

二、生活扶助ノ方法並ニ給與額ニ關スル意見

第三條 市町村長ハ醫療ニ依ル救護ヲ受ケムトスル者アルトキハ左ノ事項ヲ詳具シ願書ヲ進達スヘ
シ

一、治療方法ノ概要、一日ノ治療費所要見込額、治癒ニ至ル迄ノ見込日數並治療見込總額

二、現ニ醫療ヲ受ケツツアラハ其ノ狀況

第四條 市町村長ハ助産ニ依ル救護ヲ受ケムトスル者アルトキハ助産費所要見込額ヲ具シ願書ヲ進達スヘシ

第五條 市町村長ハ生業扶助ニ依ル救護ヲ受ケムトスル者アルトキハ左ノ事項ヲ詳具シ願書ヲ進達スヘシ

一、事業計劃ノ適否及將來ノ見込

二、生業扶助ノ方法及程度ニ關スル意見

第六條 市町村長ハ醫療ニ依ル救護ノ許可ヲ受ケタル者アルトキハ直ニ病院又ハ醫師若ハ齒科醫師ヲ選定シテ治療ヲ受ケシムヘシ但シ醫師若ハ齒科醫師ニ於テ処方箋ヲ交付シタルトキハ藥劑師ヲ選定シテ藥劑ヲ受ケシムヘシ

前項ノ救護ニ要シタル醫療費ニ付テハ一箇月分ヲ取經メ翌月十日迄ニ第二號様式ノ請求書ヲ徵シ知事ニ進達スヘシ

第七條 市町村長ハ助産ニ依ル救護ノ許可ヲ受ケタル者アルトキハ直ニ病院若ハ産院又ハ醫師若ハ産婆ヲ選定シテ助産ヲ受ケシムヘシ

前項ノ救護ニ要シタル費用ニ付テハ助産終了後十五日以内ニ第三號様式ノ請求書ヲ徵シ知事ニ進達スヘシ

第八條 救護ヲ受クル者死亡シタル場合ニ於テ埋葬ヲ行フ者ナキトキハ其ノ住所地市町村長ニ於テ埋葬ヲ行ヒ其ノ旨直ニ知事ニ報告スヘシ

前項ノ埋葬ニ要シタル費用ニ付テハ埋葬後十五日以内ニ各債權者ヨリ第四號様式ノ請求書ヲ徵シ埋葬費計算書ヲ添付シテ知事ニ進達スヘシ

第九條 市町村長軍事救護法施行細則第八條ニ依ル報告ヲ爲ス場合ニ於テハ第五號様式ニ依ルヘシ但シ醫療ニ依ル救護ヲ受クル者ニ付テハ其ノ症狀、助産ニ依ル救護ヲ受クル者ニ付テハ其ノ狀況、生業扶助ニ依ル救護ヲ受クル者ニ付テハ事業ノ狀況收支損益及將來ノ見込ヲモ併セテ報告スヘシ

附 則

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號 樣式 (用紙美濃紙)

救護種類	元(故)陸軍 步兵一等兵 何某					傷病兵下士官兵 氏名	出願者	住所名	護救ノ団体各種各務義養扶	開始年月日	救護者	金額	期間
	遺族					氏名	住所名						
	許可年月日	番號	給與ノ品目	數量	期限	摘要	月日	愛國婦人會					

生活扶助	年 月 日	鳥取縣受社第號	現金	一日ニ付	何年何月何日	何年何月何日	醫師 何某
	同	同	以金	何	許可ノ日	何年何月何日	醫師 何某
	同	同	以金	何	何某病氣全快	何年何月何日	醫師 何某
助産	同	同	以金	何	何年何月何日	何年何月何日	產婆 何某
生業扶助	同	同	以金	何	何年何月何日	何年何月何日	產婆 何某
備考	年 月 日	日愛國婦人會ニヨリ	每月何程	救護何月何日報告			
備考	年 月 日	日何男(女)何某	生何月何日報告				
備考	年 月 日	日家族(遺族)何某	死亡何月何日報告				

一、本名簿ハ救護許可ヲ受ケタル者毎ニ作製スルモノトス
 一、本樣式ハ記載ノ一例ヲ示シタルニ過キササルヲ以テ實際ニ當リテハ尙救護ノ廢止停止及程度
 若ハ方法變更ノ年月日指令番號其ノ他必要事項ヲ詳記整理スルモノトス

第二號 樣式

軍事救護醫療費請求書

一金 也

但シ被救護者何郡(市)何町(村)何某ニ對スル昭和何年何月分醫療費

內 譯

藥	價		處置料		手術料		検査及注射料		車馬賃若 ハ汽車貨		入院料		其 他
	日 種 類	單 金	回 種	單 金	回 種	單 金	回 種	單 金	回 種	日 種	單 金		
	數	價	額	數	價	額	數	價	額	數	價	額	

右請求候也

年 月 日 住 所

醫師(齒科醫師、藥劑師、何病院長)何 某 印

知 事 宛

備 考

本樣式ニ依リ記載シ難キ場合ハ適宜ノ方法ニ依ルモ妨ナシ

第三號 樣式

軍事救護助產費請求書

一金 也

但シ何年何月何日分娩シタル被救護者何郡(市)何町村何某ニ對スル助產費

內 譯

金 何 程
金 何 程
右請求候也

何 々
何 々

年 月 日 住所

產婆(醫師、何產院長、何病院長)氏 名 印

知 事 宛

第四號樣式

軍事救護埋葬費請求書

一金 也

但シ何年何月何日死亡シタル被救護者何郡(市)何町(村)何某ノ埋葬ニ要シタル何々費

内 譯

金 何 程
金 何 程
右請求候也

何 々
何 々

年 月 日 住所

氏 名 印

知 事 宛

第五號樣式

軍事被救護者生計狀況調

被救護者氏名

被救護者
生活ノ大要

給與金品使用狀況

被救護者ノ素
行勤惰ノ狀況

其他必要ナル事項

右及報告候也

年 月 日

市 町 村 長

知 事 宛

備 考

「其他必要ナル事項」欄ニハ凡ソ左ノ事項ヲ記載スヘシ

イ、法第八條乃至第十三條ニ該當ノ有無

ロ、家族中疾病等ニ罹レルモノアル場合醫療救護ノ要否

ハ、家族ノ異動又ハ家族中勞働能力若ハ所得ノ著シキ變動等ノ爲救護ノ程度方法ニ變更ヲ要ス

ヘキ事項

告 示

◆鳥取縣告示第一號

鳥取縣方面委員規程左ノ通改正ス

昭和七年一月一日

鳥取縣知事 館 哲 二

鳥取縣方面委員規程

第一條 方面委員ハ救護法第四條及救護法施行令第五條ニ定ムル事項ノ外左ノ事務ヲ擔任ス

一、保護又ハ指導ヲ要スル者及現ニ公私ノ扶助ヲ受クル者ニ付其ノ實狀ヲ調査シ適宜ノ方法ヲ講スルコト

二、各種社會事業施設ト聯絡ヲ保テテ之カ利用ノ途ヲ講シ其ノ目的達成ニ助力スルコト

三、風紀衛生ニ留意シ弊風ノ矯正並衛生狀態ノ向上ニ努ムルコト

四、一般社會狀態ヲ調査シテ之カ改善上適切ナル施設其ノ他ノ方法ヲ攻究スルコト

五、其ノ他社會狀態ノ改善向上ニ關シ特ニ委囑セラレタル事項ノ調査實行ニ當ルコト

第二條 市及特別ノ事情アル町村ニ在リテハ其ノ區域ヲ二以上ノ方面ニ分テ其ノ他ノ町村ニ在リテ

ハ一町村一方面トシテ方面委員ヲ設置ス

第三條 方面委員ヲ設置スル市町村、方面ノ名稱及區域並方面委員ノ定數ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 二人以上ノ方面委員ヲ設置スル方面ニハ必要ニ應シ常務委員一人ヲ置ク

常務員ハ其ノ方面ニ屬スル方面委員ノ互選シタル者ニ知事之ヲ囑託ス
常務委員ノ任期ハ方面委員ノ任期ニ依ル

第五條 常務委員ハ常務ヲ擔當シ方面委員ノ聯絡統一ニ任シ必要ニ應シテ方面委員會ヲ開クコトヲ得

第六條 市町村長ハ必要ニ應シ常務委員會又ハ方面委員會ヲ開クコトヲ得

第七條 方面委員ノ事務ヲ處理スル爲必要アル方面ニハ事務所ヲ設ケ書記ヲ置クコトアルヘシ
書記ハ知事之ヲ命シ若ハ囑託ス

第八條 縣及各方面ニ方面參事ヲ置キ縣市町村ノ官吏吏員及警察官吏中ヨリ知事之ヲ命シ若ハ囑託ス

方面參事ハ第一條各號ノ事務ニ付方面委員ヲ援助シ會議ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得

第九條 知事ハ必要ニ應シ方面委員常務委員又ハ方面參事ノ全部若ハ一部ヲ招集スルコトアルヘシ

第十條 知事ハ必要ニ應シ學識技能アル者ニ方面顧問ヲ囑託スルコトアルヘシ

方面顧問ハ方面委員ノ事務ニ關シ知事ノ諮問ニ應スルモノトス

第十一條 方面委員ノ服務其ノ他本規程ノ施行ニ關シ必要ナル細目ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本規程ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◇鳥取縣告示第二號

救護法施行令第三條及鳥取縣方面委員規程第三條ノ規程ニ依リ方面委員ヲ設置スル市町村、方面ノ名稱及區域竝方面委員ノ定數左ノ通定ム

昭和七年一月一日

鳥取縣知事 館 哲 二

方面委員ヲ設置スル市町村、方面ノ名稱及區域竝方面委員ノ定數

市 町 村	方面名稱	方 面 區 域	方面委員定數

久松	東町、西町、栗谷町、江崎町、馬場町	一
醇風	片原三丁目、東町三四丁目、二階町三、四丁目、豆腐町 茶町、三軒屋、下魚町、鹿野町、下横町、下臺町、材 木町、玄好町、湯所町、湯所村、北本寺町、元鑄物師町 新鑄物師町、新品治町、大森町、藥師町、川下町、丹 後片原町、	二
富桑	行徳、西品治、田島	二
遷喬	上魚町、若櫻町、鍛冶町、職人町、桶屋町、寺町、片 原一、二丁目、本町一、二丁目、二階町一、二丁目、 新町、元魚町一丁目、川端一、二、三四丁目、四丁目、 尻簀片原町、元魚町二、三丁目、魚町尻	二
鳥取市		一三

日進	吉方村、東品治村、川外大工町、今町一、二丁目、瓦 町、南本寺町、梶川町	二
修立	元大工町、大工町頭、掛出町、庖丁人町、大榎町、上町、中 町、吉方町、御弓町、立川一、二、三四、丁目、立川村、	三
啓成	尾高町、朝日町、角盤町一、二、三丁目、幸町、榮町、 勝田町、博努町一、二丁目、栲町二丁目	五
義方	寺町、岩倉町、立町一、二、三、四丁目、灘町一丁目、天 神町一、二丁目、内町、西町、灘町二丁目	四
明道	法勝寺町、紺屋町、四日市町、東町、日野町、栲町一 丁目、道笑町一、二、三丁目、長田	三
就將	東倉吉町、西倉吉町、西大谷、美吉、茶町、塩町、大 工町一、二丁目、陰田、加茂町、中町、萬能町、郭内	四
米子市		一六

岩 美 郡

中ノ郷村	美保村	倉田村	米里村	稻葉村	宇倍野村	成器村	大茅村	面影村
中ノ郷	美保	倉田	米里	稻葉	宇倍野	成器	大茅	面影
中ノ郷村	美保村	倉田村	米里村	稻葉村	宇倍野村	成器村	大茅村	面影村
一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓

津ノ井村	福部村	大岩村	本庄村	小田村	網代村	浦富町	田後村	東村
津ノ井	福部	大岩	本庄	小田	網代	浦富	田後	東
津ノ井村	福部村	大岩村	本庄村	小田村	網代村	浦富町	田後村	東村
一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓

八 頭 郡

山 鄉 村 山 鄉	山 形 村 山 形	智 頭 町 智 頭	社 村 社	佐 治 村 佐 治	用 瀬 町 用 瀬	大 村 大 村	散 岐 村 散 岐	西 鄉 村 西 鄉
山 鄉 村 一 圓	山 形 村 一 圓	智 頭 町 一 圓	社 村 一 圓	佐 治 村 一 圓	用 瀬 町 一 圓	大 村 一 圓	散 岐 村 一 圓	西 鄉 村 一 圓
一	二	一	一	二	一	一	一	一

八 上 村 八 上	河 原 町 河 原	國 英 村 國 英	大 伊 村 大 伊	船 岡 村 船 岡	國 中 村 國 中	賀 茂 村 賀 茂	浦 生 村 浦 生	岩 井 町 岩 井
八 上 村 一 圓	河 原 町 一 圓	國 英 村 一 圓	大 伊 村 一 圓	船 岡 村 一 圓	國 中 村 一 圓	賀 茂 村 一 圓	浦 生 村 一 圓	岩 井 町 一 圓
一	一	一	一	一	一	一	一	一

若櫻町若櫻	八東村八東	丹比村丹比	安部村安部	隼村隼	大御門村大御門	那岐村那岐	土師村土師	富澤村富澤
若櫻町一圓	八東村一圓	丹比村一圓	安部村一圓	隼村一圓	大御門村一圓	那岐村一圓	土師村一圓	富澤村一圓
二	一	一	一	一	一	一	一	一

東郷村東郷	大正村大正	美穂村美穂	大和村大和	神戸村神戸	下私都村下私都	中私都村中私都	上私都村上私都	池田村池田
東郷村一圓	大正村一圓	美穂村一圓	大和村一圓	神戸村一圓	下私都村一圓	中私都村一圓	上私都村一圓	池田村一圓
一	一	一	一	一	一	一	一	一

郡 高 氣

末恒村末	大郷村大	吉岡村吉	千代水村千代水	賀露村賀	松保村松	湖山村湖	明治村明	豊實村豊
恒	郷	岡	水	露	保	山	治	實
末恒村	大郷村	吉岡村	千代水村	賀露村	松保村	湖山村	明治村	豊實村
一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓

寶木村寶	酒津村酒	瑞穂村瑞	鹿野町鹿	正條村正	逢坂村逢	小鷺河村小鷺河	日置村日	日置谷村日置谷
木	津	穂	野	條	坂	河	置	谷
寶木村	酒津村	瑞穂村	鹿野町	正條村	逢坂村	小鷺河村	日置村	日置谷村
一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓

青谷町青谷	中郷村中郷	勝部村勝部	勝谷村勝谷	西郷村西郷	日下村日下	長瀬村長瀬	橋津村橋津	宇野村宇野
青谷町一圓	中郷村一圓	勝部村一圓	勝谷村一圓	西郷村一圓	日下村一圓	長瀬村一圓	橋津村一圓	宇野村一圓
一	一	一	一	一	一	一	一	一

郡 伯 東

泊村泊	舍人村舍人	東郷村東郷	松崎村松崎	淺津村淺津	花見村花見	三朝村三朝	三德村三德	小鹿村小鹿	旭村旭
泊村一圓	舍人村一圓	東郷村一圓	松崎村一圓	淺津村一圓	花見村一圓	三朝村一圓	三德村一圓	小鹿村一圓	旭村一圓
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二

竹田村竹田	竹田村一圓	一
成德	倉吉町ノ内住吉町、湊町、東町、葵町、仲ノ町、荒神町、宮川町、堺町一、二丁目、研屋町、明治町、大正町、新町一、二、三丁目、魚町、東仲町、西仲町、西町	二
明倫	倉吉町ノ内福吉町、福吉町二丁目、東岩倉町、瀬崎町、西岩倉町、越中町、越殿町、鍛冶町一二丁目、廣瀬町、余戸谷町、河原町	三
上灘	倉吉町ノ内駄經寺、米田、圓谷、下田中、巖城	一
小鴨村小鴨	小鴨村一圓	一
上小鴨村上小鴨	上小鴨村一圓	一

六

矢送村矢送	矢送村一圓	一
南谷村南谷	南谷村一圓	一
山守村山守	山守村一圓	一
北谷村北谷	北谷村一圓	一
高城村高城	高城村一圓	一
社村社	社村一圓	一
灘手村灘手	灘手村一圓	一
下北條村下北條	下北條村一圓	一
中北條村中北條	中北條村一圓	一

八橋町八橋	古布庄村古布庄	上郷村上郷	下郷村下郷	逢東市勢村逢東伊勢崎	由良町由良	大誠村大誠	榮村榮	上北條村上北條
八橋町一圓	古布庄村一圓	上郷村一圓	下郷村一圓	逢東伊勢崎	由良町一圓	大誠村一圓	榮村一圓	上北條村一圓
—	—	—	—	—	—	—	—	—

赤碕町赤碕	成美村成美	以西村以西	安田村安田	上中山村上中山	下中山村下中山	住吉村住吉	彦名村彦名	崎津村崎津
赤碕町一圓	成美村一圓	以西村一圓	安田村一圓	上中山村一圓	下中山村一圓	住吉村一圓	彦名村一圓	崎津村一圓
—	—	—	—	—	—	—	—	—

郡 伯 西

渡村渡	外江村外江	境町境	上道村上道	餘子村餘子	中濱村中濱	大篠津村大篠津	和田村和田	富益村富益
渡村一圓	外江村一圓	境町一圓	上道村一圓	餘子村一圓	中濱村一圓	大篠津村一圓	和田村一圓	富益村一圓
一	一	二	一	一	一	一	一	一

夜見村夜見	加茂村加茂	福米村福米	福生村福生	車尾村車尾	成實村成實	天津村天津	大國村大國	法勝寺村法勝寺
夜見村一圓	加茂村一圓	福米村一圓	福生村一圓	車尾村一圓	成實村一圓	天津村一圓	大國村一圓	法勝寺村一圓
一	一	一	一	一	一	一	一	一

縣村縣	大幡村大幡	幡鄉村幡鄉	五千石村五千石	尙德村尙德	賀野村賀野	手間村手間	東長田村東長田	上長田村上長田
縣村一圓	大幡村一圓	幡鄉村一圓	五千石村一圓	尙德村一圓	賀野村一圓	手間村一圓	東長田村一圓	上長田村一圓
—	—	—	—	—	—	—	—	—

春日村春日	大高村大高	巖村巖	日吉津村日吉津	大和村大和	淀江町淀江	宇田川村宇田川	高麗村高麗	所子村所子
春日村一圓	大高村一圓	巖村一圓	日吉津村一圓	大和村一圓	淀江町一圓	宇田川村一圓	高麗村一圓	所子村一圓
—	—	—	—	—	—	—	—	—

大山村大	庄内村庄	名和村庄	御來屋町	光德村	逢坂村	二部村	黑坂村	大宮村
山	内	和	御來屋	德	坂	部	坂	宮
大山村	庄内村	名和村	御來屋町	光德村	逢坂村	二部村	黑坂村	大宮村
一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓
—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野郡

阿毘緣村	山上村	多里村	日野上村	福榮村	石見村	日野村	根雨町	神奈川村
阿毘緣	上	里	上	榮	見	野	雨	川
阿毘緣村	山上村	多里村	日野上村	福榮村	石見村	日野村	根雨町	神奈川村
一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓
—	—	—	—	—	—	—	—	—

江尾村江尾	米澤村米澤	日光村日光	八鄉村八鄉	溝口町溝口
江尾村一圓	米澤村一圓	日光村一圓	八鄉村一圓	溝口町一圓
—	—	—	—	—

昭和七年一月一日印刷
昭和七年一月一日發行

發行所 鳥取縣鳥取市東町
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
印刷所 鳥取刑務支所